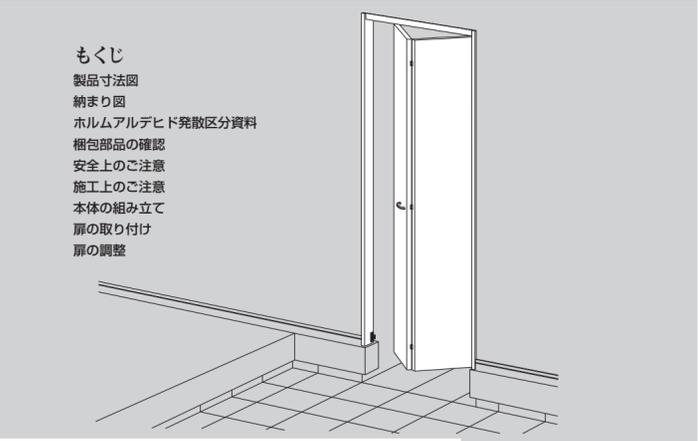


※この説明書には扉の調整方法・お手入れ方法が記載されています。必ずお施主様にこの説明書をお渡しください。

ダイケンクローク収納
折戸ユニット
(下レールレス三方枠)



警告表示の種類と内容

弊社製品を長時間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

■危険の定義とシンボルマーク
誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

⚠ **注意** 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■警告図記号について
本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

🚫 「してはいけない」を示します。 ⚠ 「注意すること」を示します。 🛑 「必ず行なっていただくこと」を示します。

■施工の際は以下の工具をご用意ください。

- 電動ドリル（＋2番ビット）
- 水準器
- 下げ振り
- 丸ノコ
- ハンマー

■定期的な点検項目
※製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化（経年劣化）を生じ安全上支障が出るおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	劣化の有無	経年劣化に伴う異状発生
用巻	用巻が扉から抜けかけているか	有・無	扉のガタつき、脱落
ガイドローラー	扉がスムーズに動くか	有・無	扉のガタつき

ユーザー登録サービス
製品を末長く安全にご使用いただくために、ユーザー登録をお願いします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!
登録はこちらから <https://www.daiken.jp/qruser/>

特典「パーツショップ製品10%割引」
ご購入いただく「DAIKENのパーツショップ」取扱製品を通常価格の10%割引でご購入いただけます。

木質材料の性質について

木質収納扉の「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた収納扉は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、収納扉周辺の湿度、温度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、収納扉の室内側と収納庫側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。

- ①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、収納扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
- ②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内側と収納庫側の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
- ③収納扉に直接日光が当たる場合は、窓際にカーテン、すだれ等を掛けて日光を避けてください。

発生した「反り」は室内側と収納庫側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

製品の保証について

製品保証とは、保証期間、保証内容において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品
クローク収納

■保証事項
通常の環境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態（前提条件）で、弊社の責任に起因する製品不具合（保証期間参照）を無料で修理します。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

■保証期間
製品施工完了後2年とさせていただきます。弊社製品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間経過後の修理については有料となります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④室内であっても扉裏面内外の温度差が著しく過大に取付けられたことによる膨張・反り・キズ発生などの不具合
- ⑤極端に乾燥を繰り返したり、著しく高温・多湿・多塵となる環境に取付けられたことに起因する不具合
- ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
- ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化・磨耗などの不具合
- ⑩用途外に使用された場合の故障および損害（例えば、一般家庭用を業務用に、室内用を屋外に使用された場合等）
- ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の齧るに起因する不具合やキズ・ムシなどの虫害に起因する不具合
- ⑫難燃剤などの遮燃剤へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する旅費
- ⑬その他当該不具合の発生が弊社の責に非ない場合

※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害、ガスや異常な高温・低温・多湿・多塵・多汚染などの周辺環境

お問い合わせ窓口について ●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター
☎0120-787-505
(フリーダイヤル)

●受付時間：平日9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始・長期休暇等は別途ご案内いたします)
<https://www.daiken.jp/qrform01/>

メールで写真も送ることができます。

修理・交換部品のご購入の方は
DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
※購入に際しては登録が必要です。
<https://www.daiken.jp/qr/service/>
「DAIKENホームページ」▶「お客さまサポート」▶▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

製品寸法図

寸法表

	W	DW
3尺間口	735	700
4.5尺間口	1190	577
6尺小間口	1644	804
6尺間口	1680	822

3尺間口

4.5尺間口

6尺小, 6尺間口

納まり図

固定枠

(平面図)

注意 召し合せは下記寸法分、枠後ろからはみ出します。収納内部の棚板、中仕切等は干渉しない位置に取付けしてください。

■寸法表(平面図)

尺モジュール

	3尺	4.5尺	6尺小	6尺
枠外寸法	735	1190	1644	1680
枠内寸法	705	1160	1614	1650
扉幅	700	577	804	822
A寸法	289.2	227.2	341.4	350.5

■寸法表(断面図)

	製品高	枠内寸法	扉高
8尺高	2320	2290	2264
7尺高	2035	2005	1979

〈玄関での納まり〉

〈A部拡大図〉

ホルムアルデヒド発散区分資料

DAIKENクローク収納 **F☆☆☆☆**
(住宅部品表示ガイドラインによる)

この度はDAIKEN クローク収納をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表のようになっております。建築確認の際に本資料をご利用ください。

●製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

規制対象外 (F☆☆☆☆)

構成部位	内装仕上げ部分(表面)		内装仕上げ部分(裏面)	
	材 料 発散区分	備 考	材 料 発散区分	備 考
①扉:面材	化粧MDF 規制対象外 (F☆☆☆☆)	日本建材・住宅設備産業協会 表示登録品:K-002058	表面と同じ	表面と同じ

規制対象外部位・告示対象外

枠・見切	規制対象外部位：規制対象外(F☆☆☆☆) 同等品質材料を使用
丁番・吊車・レール 他金具	告示対象外

◎製品に関する情報・お問い合わせ 最寄の弊社営業所(施工説明書に記載)に問い合わせいただくか、弊社ホームページ(<https://www.daiken.jp/>)をご利用ください。

梱包部品の確認

組み立て前に部品数を確認してください。

品名	数量	備 考
扉本体	1	-
ベースカップ	2	(扉取付済)
センター丁番	3	(扉取付済)
ガイドローラー	2	

名 称	下レールレス三方枠		備 考
	3 尺	4.5尺・6尺小・6尺	
上 枠	1	-	-
縦 枠	2	-	-
上レール	1	-	
上レール取付ビス	5	8	トラスビスφ3.8×40
ピボット受け金具	1	2	トラスビスφ3.8×40 (3本/個)
振れ止め(扉) ※3尺間口用	1	-	トラスφ3.5×16 (2本/個)
振れ止め(枠) ※3尺間口用	1	-	トラスビスφ3.8×40 (2本/個)
召し合せ	-	4	トラスφ3.5×16 (2本/個)
吊 車	2	4	
仮固定ストッパー(上)	1	2	
枠組立ビス	4	-	-
枠調整ビス	8	-	長押ビス φ4.2×38
ビスキャップ	8	-	φ4.5×44
型 紙	1	-	-

※ハンドルは別梱包になります。

安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

⚠ 注意

- 扉と扉の間の隙間が広がるような加工は絶対にしないでください。広かると乳幼児が指を挟むおそれがあります。
- ビスの締めつけ不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

お願い

- ❗ 扉は上吊式です。上枠を取り付けるままでは、必ず強度のある梁から、吊束又は吊りボルトで補強してください。梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。
- ❗ 上レールの木ネジは、必ず同梱のナベビス(ℓ=40)を使用し、空回りしないよう取り付けてください。短いネジを使用するとレールがはずれ、扉がスムーズに開閉できません。

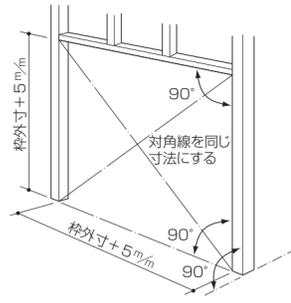
⚠ 注意

- ❗ 7尺高の枠は、6尺高と兼用です。6尺高の扉をご使用の場合は、組み立て前に、縦枠の切断が必要です。
- 🚫 扉を吊り込むまでの間、製品を立てかけたり、不安定な場所に置かないでください。扉の反り・キズの原因になります。
- ❗ 施工～引渡しの間、長時間直射日光が当たったり、室内が高温多湿になる場合は、扉の養生や室内の換気を行ってください。扉が反る原因になります。
- 🚫 扉表面に養生テープなどを直接貼らないでください。
- ❗ 廃棄の際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および地方自治体の規制に基づき適切な処理をおこなってください。
- ❗ 吊車や丁番などの部品に、木粉や石こうボードのくすが入りこまないように注意してください。動作不良や異音の原因となります。

開口部の準備

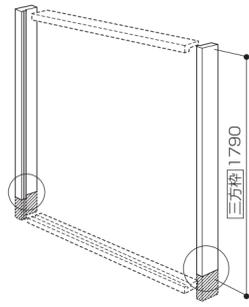
- ❗ 扉は上吊り式です。まぐさは必ず強度のある梁から吊束又は吊りボルトで補強してください。梁が弱いと上枠が垂れ下り、扉がスムーズに開閉できません。
- ❗ 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- ❗ 柱の垂直、床・まぐさの水平を下げ振り・水準器でよく確認してください。垂直、水平が出ていないと、上下ストッパーのキャッチ力が不足し、扉の開閉時に扉がキャッチから外れる場合があります。

	3尺間口	4.5尺間口・6尺間口
梁の断面寸法	105×105mm以上	105×180mm以上



施工の前に

6尺高の扉をご使用の際は縦枠を切断してください。

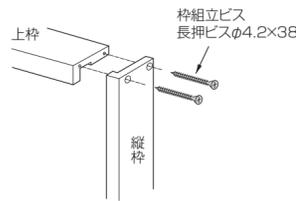


本体の組み立て

枠の組立て・施工手順 (方法)

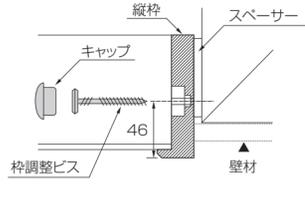
1. 枠の組立て

※図は固定枠です。

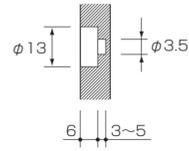


2. 縦枠の取付け

※図は固定枠です。



※6尺高の場合、縦枠下より150mm前面より46mmの位置で内側よりφ13、深さ6mmのリード穴を開けビス固定してください。



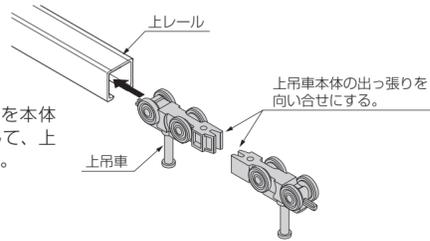
枠と柱の隙間を調整したあと、隙間に接着剤を塗ったスペースを図のような幅で入れ、ビスで締め付けてください。

❗ ビスの固定にトルク設定の強い電動ドリルや、インパクトドライバーは使用しないでください。

3. 上吊車、仮固定ストッパーの取付け

レールを枠に取付ける前に、上レール内のゴミを除去し、上吊車・仮固定ストッパー(上)を挿入してください。

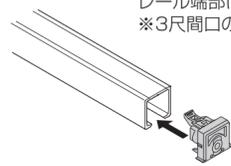
■上吊車の挿入



❗ 扉1setにつき、上吊車2個を本体の長い方を向かい合わせにして、上レールに差し込んでください。

■仮固定ストッパーの取付け

レール端部に仮固定ストッパーを押し込む。※3尺間口の場合は吊元側に取付けてください。

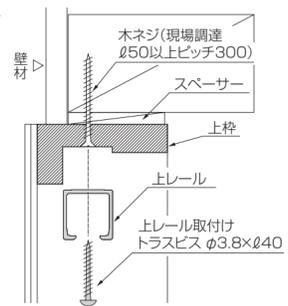


❗ 部品の上下の向きに注意してください。

4. 上枠・上レールの取付け

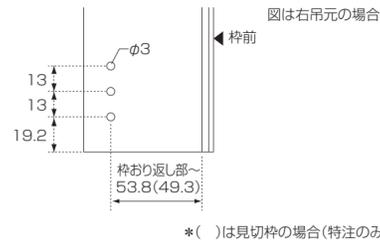
<固定枠>

枠とまぐさの隙間を調整したあと、隙間に接着剤を塗ったスペースを図のような幅で入れ、ビスで締め付けてください。



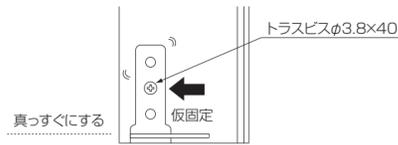
5. ピボット受金具の取付け

①型紙を使ってφ3程度のリード穴を開ける。

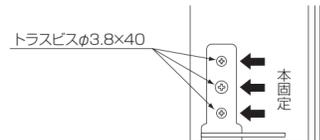


※()は見切枠の場合(特注のみ)

②図のように、まん中のビス穴を仮固定し、傾きや位置を調整する。

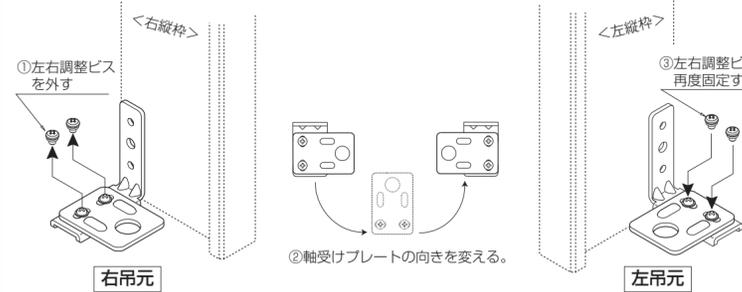


③残り2カ所をビス固定し、本固定する。



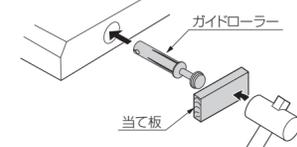
❗ 注意 金具は必ず真っすぐに固定してください。傾いた状態で使用すると、開閉の際に扉と金具が接触したり、開閉不良の原因となります。

❗ ピボット受金具は右吊元になっています。左吊元でご使用の際は、以下の順で金具を左吊元に組替えてください。



1. ガイドローラーの取付

当て板をあてて吊元側の扉下部にガイドローラーを打ち込んでください。
※ガイドローラーを直接叩くと破損する場合があります。必ず当て板をあててください。
※つばに引っかかって止まるまでしっかりと打ち込んでください。

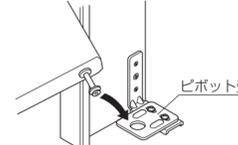


■扉の取付手順



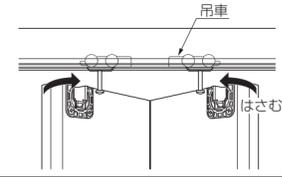
2. ピボット受への落としこみ ①

ピボット受にガイドローラーを落とし込んでください。



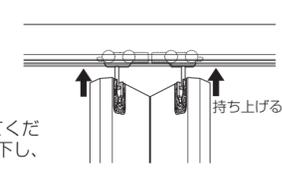
3. 吊車のはさみ込み ②

吊車の軸を扉のベースカップ溝部ではさみ込んでください。



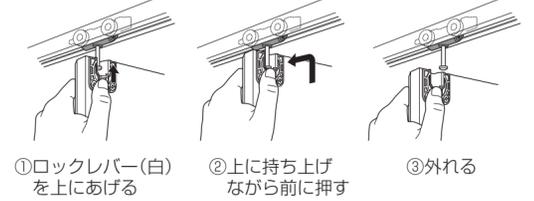
4. 扉の持ち上げ・扉の吊り込み ③

扉を持ち上げて、扉を吊り込んでください。吊車の軸がしっかりと嵌合されていることを確認してください。



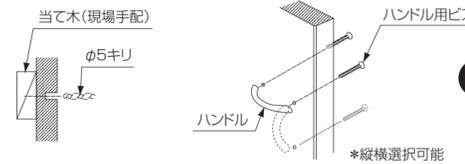
❗ 注意 扉が確実に取付いていることを確認してください。確実に取付いていないと、扉が落下し、ケガをするおそれがあります。

■扉の外し方



5. ハンドルの取付け

ハンドルの取付け位置(左右、縦横)を決め、扉裏面のリード穴をφ5のキリで貫通させ、ハンドルを取り付けてください。



❗ 扉表面に当て木(現場手配)をあて、パリの発生を防いでください。

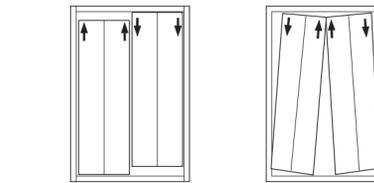
※ハンドルは扉1セットに1個です。

ウッド扉	右ミラー扉
<p>吊元</p>	<p>吊元</p>
<p>ハンドルは左右どちらにでも取り付け可能ですが、両端の扉は吊元とは逆の位置に取付けてください。</p>	<p>ハンドルは左側に取り付けてください。</p>

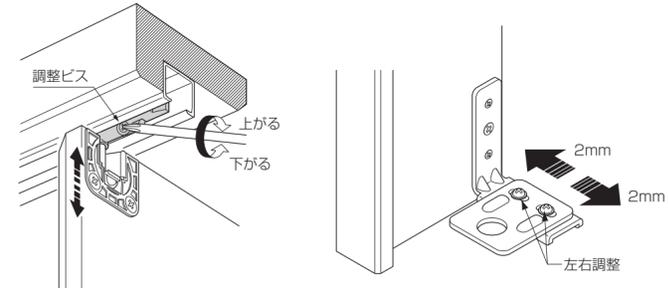
6. 扉の位置調整

上下調整 (調整量6mm)

◆扉に段差、傾きがある場合は、上吊車の調整ビスを、プラスの手回しドライバーで回してください。



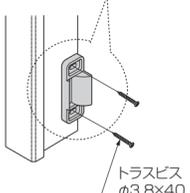
左右調節 (調整量4mm)



7. 「振れ止め」の取付 (3尺間口のみ)

<枠>

型紙を使ってφ3程度のリード穴を開け、取付けてください。



図は右吊元の場合

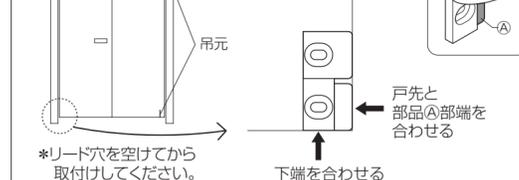
※吊元と逆側の縦枠に取り付けます。※部品の向きに注意!!



<扉>

■右吊元の場合

扉裏面、戸先側に図のように部品端部を合わせ、同梱のビス(φ3.5×16)で固定する。



■左吊元の場合

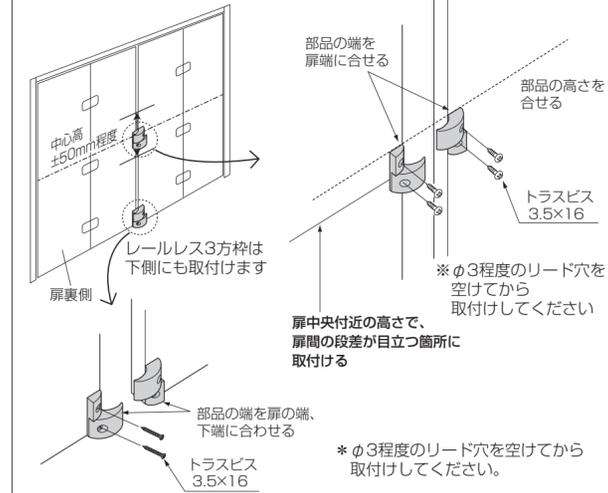


※リード穴を開けてから取付けしてください。扉下端から20mmの位置に合わせる

8. 召し合せの取付(4.5~6尺間口)

扉中央と扉下端に取付してください。

◆召し合せ部品は右側と左側の折れ戸扉の段差を軽減するための部品です。必ず取り付けてください。



※φ3程度のリード穴を開けてから取付けしてください。